

第 1 学年 * 組 国 語 科 学 習 指 導 案			
平成23年 * 月 * 日 (*) 第 * 校時 1年*組教室 指導者 **, **			
育成する国語の能力	文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。		
単元目標	○古文の物語を読み登場人物の心情を自分なりに考えようとする。(関心・意欲・態度) ○語句や文法に注意しながら口語訳し，人物や心情を理解できる。(読む能力) ○文学史や語句の意味，文法事項を的確に理解できる。(知識・理解)		
単元の評価規準	関心・意欲・態度	読む能力	知識・理解
	古文の物語に対し興味をもって読もうとしている。	①古典特有の語句や文法の特徴に気付いている。 ②表現に込められた人物の思いを理解している。	①口語訳に必要な文法事項や和歌の修辞法を理解している。 ②『伊勢物語』についての基本的な知識が身に付いている。
取り上げる言語活動	様々な文章を読み比べ，内容や表現の仕方について感想を述べる。		
題材(教材)	『伊勢物語』芥川		
<b>本 時 案 (第3時)</b>			
本時の目標	「芥川」の緊迫した文章表現をつかみ，和歌にこめられた，女を奪われた男の悲壮な思いを読み取る。(読む能力)		
学習活動	指導上の配慮事項など		評価・方法など
1 前時の確認	○本文の範読をする。(T1) ○口語訳に留まらず，悲恋話であることを確認する。 T1 説明をする。 T2 机間指導をし，説明を聞くことができる状態をつくる。		
<b>和歌に込められた男の思いを読み取ろう。</b>			
2 本時の学習活動の確認	○目標を板書し，確認する。		
3 本文を読解する。 (1)本文中2ヶ所の「なむ」の品詞及び訳し方について考える。	○本文の「なむ」を□で囲ませる。 ○ワークシートを配布する。 ○二つの「なむ」の違いとそれらを用いた表現効果を，ワークシートを用いて整理させる。 <ワークシート> 係助詞「なむ」⇒訳出しない(強調) 効果・・・ 終助詞「なむ」⇒～してほしい。 効果・・・ T1 ワークシートを配布し，二つの「なむ」の文法的説明をさせる。 T2 ワークシートへの取り組みを確認し，机間指導をする。 T1 「明けなむ」の品詞分解を比較させる。 明け/なむ (明けて欲しい) 明け/な/む (きっと明けるだろう)		○古典特有の文法的特徴に気づき，訳出することで，「芥川」の緊迫した文章表現を理解している。(読む能力) ・生徒の活動状況を観察したり，ワークシートの記述を点検したりする。 <努力を要する生徒への手立て> 「なむ」を正確に訳出できない生徒には，助詞一覧を用いて違いを確認させる。
(2)「はや夜も明けなむ」という表現から読み取れる「芥川」の緊迫感をまとめる。	○和歌に込められた男の気持ちを考えさせる。 <ワークシート> 「和歌に込められた男の気持ちは」		○表現に込められた人物の思いを理解している。(読む能力) ・生徒の活動状況を観察し
(3)和歌を解釈し，歌に込められた男の思いを考える。			

<p>予想される回答</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・愛する人を失った悲しみ</li> <li>・自責の念（守れなかったこと，答えてあげなかったこと）</li> <li>・女への愛情</li> <li>・愛する人がいないなら生きていても仕方がない</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>	<p>T1 直前の「足ずり」の動作に言及し，その後を読まれた和歌に込められた思いを考えさせる。</p>	<p>たり，ワークシートの記述を点検したりする。</p> <p>&lt;努力を要する生徒への手立て&gt;</p> <p>女を奪われた男の悲しみ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・嘆きに気付くことができない生徒には，「大切な人がいなくなったらどう思うか。」と，自分の身に置き換えて考えさせる。</li> </ul>
<p>4 「芥川」の史実及び左註の資料を見て実際の内容と本文とを読み比べる。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>&lt;和歌の解釈の留意点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人はだれのこと</li> <li>・露のたとえは</li> <li>・消えなましものの訳出は</li> </ul> </div>	
<p>5 本時のまとめとして，自己評価する。</p>	<p>T2 ワークシートへの取り組みを確認し，机間指導をする。</p> <p>T1 「和歌に込められた男の気持ち」を発表させる。</p> <p>T2 発表内容を板書する。</p>	
<p>6 ワークシートを提出する。</p>	<p>○資料を配布し，内容の読み比べをさせる。</p> <p>T1 資料の説明をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・兄を鬼に置き換えてつくられていることに気付かせ，この出来事が「男」にとって悲壮なものであったことを確認させる。</li> </ul> <p>T2 ワークシートへの取り組みを確認し，机間指導をする。</p>	
<p>7 次回の予告を聞く。</p>	<p>○ワークシートを回収する。</p> <p>○次回は，ワークの学習のまとめを使用し，内容の確認をすることを伝える。</p>	

『伊勢物語』

「芥川」ワークシート

一年 組 番 氏名

ワーク① 「なむ」の区別をしよう。

二四六・七	「かれは何ぞ。」と <b>なむ</b> 男に問ひける。
品詞	…
文法的意味	…
訳し方	…
【】部の現代語訳	…
二四七・三	「はや夜も明け <b>なむ</b> と思ひつじ…」
品詞	…
文法的意味	…
訳し方	…
【】部の現代語訳	…

ワーク② 和歌に込められた眼の深さを表現しよう。

--

『伊勢物語』 「芥川」 ワークシート

一年組 番氏名

ワーク① 「なむ」の区別をつけよう。

二四六・7 【かれは何ぞ。】となむ男に問ひける。【】

品詞 …… 係助詞

文法的意味 …… 強意

訳し方 …… 特に口語訳しない。

【】部の現代語訳… 【あれは何ですか?】と男に尋ねた。【】

二四七・3 【はや夜も明けなむと思ひつつ…】

品詞 …… 終助詞

文法的意味 …… 他への願望

訳し方 …… くテホシイ

【】部の現代語訳… 【早く夜も明けてほしいと思ひながら…】

ワーク② 和歌に込められた男の気持ちを考えよう。

女が露に注目したのだからそのときに、はかない露が消えるように二人で消えれば、このようならい別れは経験せずに済んだのにと嘆き。